



最初にお読みください

CentreCOM® AR450Sリリースノート

この度は、CentreCOM AR450Sをお買いあげいただき、誠にありがとうございました。
このリリースノートは、取扱説明書（J613-M3069-00 Rev.A）とコマンドリファレンス（J613-M3069-03 Rev.L）の補足や、ご使用前にご理解いただきたい注意点など、お客様に最新の情報をお知らせするものです。


最初にこのリリースノートをよくお読みになり、本製品を正しくご使用ください。

1 ファームウェアバージョン 2.9.1-21

2 本バージョンで追加された機能

ファームウェアバージョン 2.9.1-20 から 2.9.1-21 へのバージョンアップにおいて、以下の機能が追加されました。

2.1 ENABLE FIREWALL POLICY コマンド OPTIONS パラメーターの拡張

 参照 「コマンドリファレンス」 / 「ファイアウォール」 / 「ファイアウォールポリシー」

ENABLE FIREWALL POLICY コマンドにて許可設定が可能な IP オプションに "ROUTER ALERT" を追加しました。

3 本バージョンで修正された項目

ファームウェアバージョン 2.9.1-20 から 2.9.1-21 へのバージョンアップにおいて、以下の項目が修正されました。

- 3.1 サポート対象外の HTTP サーバーが有効なとき（デフォルトは有効）、細工された特殊な HTTP リクエストを受信するとリポートすることがありましたが、これを修正しました。
- 3.2 SSH サーバー機能において、大量の暗号化データを処理中に SSH クライアントとのセッションが切断されるとメモリーリークが発生することがありましたが、これを修正しました。
- 3.3 OSPF と IP ルートフィルターの併用時、IP ルートフィルターの設定に関連する、宛先 IP アドレスが同一でマスクだけが異なる経路が複数ある場合、OSPF の経路情報が正常に登録されないことがありましたが、これを修正しました。
- 3.4 OSPF ASBR としての動作中に再起動すると AS 外部経路を正しく通知しなくなることがありましたが、これを修正しました。
- 3.5 IPv6 サブネットルーターエニーキャストアドレス宛での Ping パケットを受信するとリポートすることがありましたが、これを修正しました。

- 3.6 IGMP Snooping 有効時、LAN 側ポートに複数のマルチキャストリスナーが接続された場合に、マルチキャストトラフィックが流れないポートがありました。これを修正しました。
- 3.7 ファイアウォール NAT (インターフェース NAT のダイナミック ENAT) 使用時、PRIVATE 側インターフェースがリンクダウンしていると、PRIVATE 側インターフェースの IP アドレスに宛てた PUBLIC 側からの Ping パケットに誤って応答していましたが、これを修正しました。
- 3.8 ファイアウォール有効時、TCP 以外のフラグメントパケットを Tiny Fragment Attack と誤認識して破棄していましたが、これを修正しました。

4 本バージョンでの制限事項・注意事項

ファームウェアバージョン 2.9.1-21 には、以下の制限事項や注意事項があります。

4.1 IPv6

「コマンドリファレンス」 / 「IPv6」

ガーベージコレクションタイマーが動作中の RIPng 経路は、新しいメトリック値を持つ経路情報を受信しても、タイマーが満了するまで経路情報を更新しません。

4.2 UPnP

「コマンドリファレンス」 / 「ファイアウォール」 / 「UPnP」

UPnP において、同一ポート番号の TCP、UDP から自動ポートマッピングの要求が発生した場合、先に受信した方しかポートが開放されません。

5 取扱説明書とコマンドリファレンスについて

最新の取扱説明書 (J613-M3069-00 Rev.A) とコマンドリファレンス (J613-M3069-03 Rev.L) は弊社ホームページに掲載されています。本リリースノートは、上記の取扱説明書とコマンドリファレンスに対応した内容になっていますので、お手持ちの取扱説明書、コマンドリファレンスが上記のものでない場合は、弊社 Web ページで最新の情報をご覧ください。

※ パーツナンバー 「J613-M3069-03 Rev.L」 は、コマンドリファレンスの全ページ (左下) に入っています。

<http://www.allied-telesis.co.jp/>